〈ミャンマーの長期にわたる避難生活による不安と現状〉

JAMAHAが緊急支援として2年前より支援を実施しております「ミャンマーの貧しい農村地区で医療活動や菜園づくりの指導等をなさっておられる友好的な団体」が実施した支援に対するミャンマーの現地の声です。

今現在食料がなく、毎日の食の確保が困難になっています。ドナーも寄付をするのが難しくなっています。このように支援物資をいただくことができて本当に感謝しています。

ありがとうございます。私には幼い子供が３人いて、妻は１歳の息子の面倒をみながら避難をしなければなりませんでした。何も持ってくることができませんでした。寄付をしてくださるドナーさんがいてよかったです。本当にありがとうございます。このようなことは言いたくはないですが、またドナーさんがいることを期待しています。

ありがとうございました。私は避難民になって１年以上が経ちました。時々この村の近くで稲刈りの仕事があると呼ばれることがあります。私はおばあちゃんと一緒なので、時々しか行けません。ドナーさんが支援してくれたもので何とか食いつないでいます。

本当にありがとうございます。現在のような大変な状況がどれぐらい続くかわかりません。食料は本当に必要な物でした。

すべての物が本当に必要な物でした。今後も期待しています。どれぐらい長引くかわからないので・・・。

支援物資に関して 100% 満足しています。お年寄りの診察費を支援していただけるとありがたいです。

今後も期待しています。家に戻るのは容易ではありません。家は村の他の家と共に村ごと燃やされました。何も残っていません。

困っているのは娘のための粉ミルクです。お金がなくても買わなければなりません。仕事がしたいです。（生後１年２か月の娘がいる。母親が乳房の手術をしたので、粉ミルクを買って与えなければならない。）

支援物資に関して 100% 満足しています。すべての物が本当に必要な物でした。今後も期待しています。2022 年 12 月から寄付者も来なくなりました。油はもうなくなりました。料理のために５日に１回、１人につき 2,000 チャット貯金をして買い物をします。仕事はいつもあるわけではなく、時々あるだけです。仕事ができる家族には、少し収入があります。お年寄りや子供には仕事がありません。（避難生活が）長引くと（お年寄りや子供がいるような）家族は大変です。

避難民が多く住む A 村では、避難民のために村が家を作ってあげているそうです。そのため避難民だけ別で生活をしていますが、「避難生活が長期にわたっており A 村の人々に申し訳なく、自信もなくなっている」と話していたそうです。

家も家財道具も畑もすべておいて逃げなければならず、長引く避難生活に不安を抱え、将来への希望を見いだせずに生活を送らなければならない人がたくさんいます。当会としても、短期の緊急支援と中長期の復興支援の性格を持った農業支援などを進めていきたいと思っていますが、何より少しでも状況が落ち着くことを願っています。

貧しさの解消と健康な身体つくりのために菜園つくりを指導されましたが今はどのようななっているか?心配です。

寄付・ご入会の振込口座

寄付

ミャンマーの子供達が将来豊かな人生を歩むためには教育が重要です。継続できるご支援が不可欠ですので、皆様のご協力を御願いします。

■今回のみ
1回だけのご支援もミャンマーの子供達の幸せに繋がります。

■保育園の寄付
予算 150万円(2022年5月現在)
保育園には寄付者の石碑が建てられます。
その後の交流も継続していただき、子供達の成長を楽しみにしていただけます。

ご入会

会員としてJAMAHAを深く関わりながら、NPOの運営を継続的に支えてくださる個人、企業、団体様を必要としています。

■年会費▶

特別会員	正会員	学生会員
100,000円 / 1口	5,000円 / 1口	1,000円 / 1口

振込先

振替口座

(1)郵便局から
口座記号番号 / 00820-5-135506
口座名称(漢字) / 特定非営利活動法人　日本ミャンマー豊友会
口座名称(カナ) / トクヒ)ニホンミャンマーホウユウカイ
加入者払込店 / 七宝
(2)銀行から
店名【店番】/ 〇八九(ゼロハチキュウ)089
預金種目 / 当座　口座番号 / 0135506

銀行振込

三菱UFJ銀行　中村公園前支店(235)
普通預金　0027522
特定非営利活動法人日本ミャンマー豊友会

ゆうちょ銀行総合口座

(1)口座記号 / 12110　番号76560361
口座名 / トクヒ)ニホンミャンマーホウユウカイ
(2)他銀行からの振り込み
店名 / 二一八(ニイチハチ)　店番 / 218
預金種目 / 普通預金　口座番号 / 7656036

JAMAHA NEWS

JAPAN & MYANMAR ASPIRATION HOYU ASSOCIATION

2023.5 vol.13

日本ミャンマー豊友会

将来の子供たちが共存共生のできる豊かで平和な世界へ

第16回「かめのり賞」受賞のご報告

皆様に大変嬉しいお知らせがあります。先日から多くの皆様からご協力と応援をいただいておりました「かめのり賞」において、このたび当社が人材育成部門の大賞を受賞することが決定いたしました。

まずはじめに、賞を受賞できたことに心から感謝申し上げます。
皆様の応援とご支援があったからこそ、このような結果を残すことができました。本当にありがとうございます。

「かめのり賞」は、優れた人材育成や教育事業を評価し、表彰することを目的とした賞で、毎年多くの企業や団体が参加しています。
今回、当NPO法人が選ばれたことは、私たちの人材育成に対する取り組みが評価された証として、大変光栄に思っております。

当NPO法人では、これからも社員一人ひとりの成長やスキルアップを重視し、継続的な教育プログラムを提供してまいります。また、NPO法人外での交流や情報共有を促進することで、新しい知識や技術を取り入れながら、更なる人材育成に努めてまいります。

今後も皆様に喜んでいただけるような成果を重ね、より一層の発展に努めて参りますので、引き続きのご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。

「かめのり賞」評価内容

第16回かめのり賞は20団体・個人の方からのご応募があり、3団体の表彰が決定しました。表彰式は、2022年11月10日(木)に開催しました「設立15周年記念かめのりフォーラム2022」にて行われ、正賞の記念の楯と副賞として活動奨励金を贈呈しました。

授賞決定にあたり、次の点が高く評価されました。
1.これまでの活動歴、活動内容とその成果として、活動によりもたらされた変化や影響力が大きく、また、活動自体に自主性、独自性を持ち、他にない取組みをしていること
2地域やボランテアの人々と共に活動し、また、行政、企業、教育機関および他団体等と密接に結びついて、有機的な協働・連携が進められていること
3.その活動が社会の必要性に合致し、将来を見据えた事業展開を考えていること

「かめのり大賞 人材育成部門」では、次の世代の社会づくりに貢献できる人材育成を行っていることを評価。これらの点に加え、アジアを中心とした活動や青少年を主眼とした交流や人材育成であるか、また支援する側と支援先が直接交流する活動をしているかという点にも着目し、選考されました。

※公益財団法人かめのり財団HPより抜粋

かめのり賞とは

公益財団法人かめのり財団は、日本とアジア・オセアニアの若い世代の交流を通じて、未来にわたって各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となるグローバル・リーダーの育成をはかります。

かめのり賞は、日本とアジア・オセアニアの若い世代を中心とした相互理解・相互交流の促進や人材育成に草の根で貢献し、今後の活動が期待される個人または団体を顕彰します。

※公益財団法人かめのり財団HPより抜粋

ミャンマー菩提樹祭りに参加して

日時：令和５年５月３日（水曜日）PM2：30 ～ 6：00 ／場所：愛知県名古屋市中川区新家 2-1304　ミッタディカパゴダ

◆◆◆ ミッタディカパゴダについて ◆◆◆

■ミッタディカパゴダについて

2015 年、名古屋市中川区にミッタディカパゴダと名付けられたパゴダが建立されました。

パゴダと同じ中川区にある日蓮宗妙本寺住職の馬島浄圭師が発起人となり 2012 年にパゴダ建立が発願されました。

彼女は 1991 年に初めてシャン州の難民キャンプを訪れて以来、30 年近くにわたってミャンマーの難民支援に関わってきたという。当時、本国ミャンマーでは民主化が進むなど大きな変化が起こっており、それに伴い日本在住のミャンマー人たちの関係性も変わりつつあったという。そうした変化の中で、様々な立場の在日ミャンマー人たちがパゴダを建立するという一つの目的のもと、心を一つに協力し合うことができれば、という思いがあったという。

また彼女が住職を務める妙本寺にはミャンマーから取り寄せた仏像があったが、これを納める場所が必要であると感じていたことも理由の一つであるという。

多くの方々のご支援により 2013 年 10 月 21 日に中川区にある馬島師所有の土地にて地鎮祭が行われ、落慶法要は 2015 年５月４日に執り行われました。

建てられた高さ 7m のパゴダは、東海地方在住ミャンマー人のコミュニティの中心となりつつありましたが、コロナ感染症のため、しばらくは交流が少なくなっていました。

開催前の代表者の挨拶とお坊様

◆◆◆ ミャンマー菩提樹祭りについて ◆◆◆

そして３年ぶりの 2023 年５月３日に盛大な菩提樹祭りが計画できるようになりました。５月３日はお釈迦様のお生まれになった日、満月の日、お釈迦様が亡くなられた日と重なったとても意義のある日だそうです。また秋にも灯明祭りが行われる予定だそうです。

敬虔なミャンマーの方々によるお祈りはお坊さんと共に約１時間 30 分ほど続き、その後軍によるクーデター、少数民族への弾圧等で亡くなられた方々への黙とうが続きました。

その後、多くの方々が仏さまへの供養のためにご寄付されたお食事がたくさんも並んで、参加されたミャンマーの方々へ振る舞われました。カレー、麺類、焼きそば、お弁当、もち米で作ったお菓子等々がありました。

総勢 200 名ほど（内日本人は 20 名ほど）が参加された和やかな雰囲気は馬島浄圭師が強く思い描かれた「様々な立場の在日ミャンマー人たちがパゴダのもと、心を一つに協力し合うことができれば」という思いが実現したようで感動いたしました。

是非ミャンマーに関心をお持ちの皆様には今年の秋に予定されています「灯明祭り」にご参加されてはいかがでしょうか？ご一緒できれば嬉しいです。

※ミャンマーの青い鳥ホームページより一部抜粋

日蓮宗妙本寺住職の馬島浄圭師と共に
ミッタディカパゴダにて

ミャンマーの子供達へ文具を届けたい!!　～ ある小学生の想い ～

和歌山県かつらぎ町立笹田小学校の子供さん達が自分たちのできる SDGs として何ができるかを課外授業で考えられ、ミャンマーの子供たちに自分たちが使わない文具を持ちより、プレゼントをしたいと活動をしてくださいました。多くの呼びかけで沢山の文具が集まりました。三嶋先生のご援助で JAMAHA 事務所に届けられました。

コロナ、クーデターで今はミャンマーに届けることができませんが、今年又は来年にはミャンマーへ是非届けたいと思っています。

このように子供たちの大切な気持ちをミャンマーの子供たちに届けることで将来互いに成長し国際社会の中で活躍する中で素晴らしい出会いがあることを願っております。感謝

おしらせ　日本ミャンマー豊友会 総会のご案内

日時：5月27日(土曜日) 11時00分～
会場：KKRホテル名古屋(愛知県名古屋市中区三の丸1丁目5−1)
zoom ミーティング ID: 859 2134 5752 ／パスコード : 072042

ZOOM視聴　会場案内MAP

オンライン日本語講座
トムトムミャンマー（TTM）富田裕行・知子ご夫妻による活動報告

水かけ祭り、及びミャンマーの正月は、静かに過ぎ、日常の生活が戻ってきました。今週からマンゴーが市場に並び始めました。

計画停電（①5時～9時、１３時～１７時、②9時～１３時、１７時～２１時）も停電時間が延長され、①と②を交互に繰り返して続いています。

早く雨期になり、パダウの花が咲いて、電気の供給が回復するのを望むばかりです。

さて、近況をお知らせいたします。

1）PARAMI－N4クラスの修了証について

・「日本語Ｎ４修了証（生徒名なし）」は、メールにて送付済。（富田担当）

・PARAMI（チーウー様）にて印刷し、生徒名を追記し各自へ授与。

・ゾーミン様よりメッセンジャーにて生徒へ

「民族衣装を着て、修了証を持った写真」の提出を依頼済。

2）ドリームトレインの子どもたちの日本語教育について

・「ＪＬＰＴ－Ｎ４試験対策クラス」・・・受講していた生徒たちが働き始めた為、参加できないとのことでした。

・「ＴＴＭ－Ｎ３クラス」・・・授業時間が合わない為、今回は辞退とのこと。（ゾーミンさんからニラー先生へ確認済）

3）「ＪＬＰＴ－Ｎ４受験向け（介護、Ｎ３会話+JLPT-N4 対策、ビジネス研修）」

※なかなか状況が把握できませんでしたが、ＴＴＭスタッフが個人毎に連絡して、確認しました。

・介護クラス・・・8名参加（PARAMI　7名、トンテイのソーさん）

・ＪＬＰＴ－Ｎ４試験対策クラス・・・１０名（PARAMI　7名、トンテイのソーさん、他）

・ビジネストレーニング・・・8名参加（PARAMI　7名、トンテイのソーさん）

★ヤンゴンで6月下旬に実施される「介護資格試験（特定技能）」の申し込みをＴＴＭ(TomTomMyanmar）が代行してあげようと考えています。

《申込方法》

・オンライン申し込み　4月２７日、夜２１時３０分～受付開始

・支払は、クレジットカード決済のみ。

・受験料、ＵＳ＄１４【＄7×2回（日本語、ミャンマー語）】

※クレジットカードを持っていないので、申し込みを代行業者に依頼することもできますが、手数料がとても高いです。

◎今回の介護クラスで、日本へ行って働きたい人が9名いるので、

日本の受入れ機関【株式会社トライズムエージェント（Traism Agent Co.,Ltd)】の佐藤様にお願いしたいと考えています。

◆介護職希望：9名（ＰＡＲＡＭＩ　7名、トンテイのソーさん、ＴＴＭのイピュさん）

4）「ＴＴＭ－日本語Ｎ３クラス（寄付講座）」について

・受講希望者　２０～２５名

・コンピュータ大学 (ヤンゴン、タウンジー、他) の生徒 18 名

・日系企業勤務　2名（授業料を企業が支援）

・養護施設　　2名

●N3会話（かいわ）クラス（Pre-N3）

２０２３年5月4日（木）スタート

・火曜日、水曜日、木曜日、金曜日　　※祝日は、お休み。

・１９時～２１時（2時間／1日）

・オンラインクラス（ＺＯＯＭ）、６０時間

・２０２３年5月～7月

●N3（文法、ごい、どっかい、ちょうかい）クラス

２０２３年7月スタート

・火曜日、水曜日、木曜日、金曜日　　※祝日は、お休み。

・１９時～２１時（2時間／1日）

・オンラインクラス（ＺＯＯＭ）、１４０時間

・２０２３年7月～１１月、

●ビジネス・トレーニングも行います。

介護資格試験（特定技能）」の結果、９名全員が来日し、未来のミャンマーの発展のために日本で研修、仕事を通じて成長されることを心より願っております。

オンライン寄付講座による「日本の介護」の中から介護の基本と言葉を学ぶ

『JAMAHA「介護の日本語」を開講して』～大上道子～

現在の日本の医療や介護の現場では、深刻な人材不足が問題となっています。

少子化と高齢化が社会問題となっている中、政府も、海外からの人材の雇用を積極的に取り組んでいます。毎年、海外からの介護分野の就労者が増えています。

長年ミャンマーの支援を続けている近藤理事長から、ミャンマーで日本の介護を学びたい人に、現地で教えてほしいと提案がありました。

看護師として働いた経験を、活かして PAO の職業訓練所で「介護の日本語」講座がスタートできればと思っていました。

しかし、コロナ感染と、２年前の２月１日に突然クーデター発生ですべてが一時中止になりました。

厳しい状況の中、現地での JAMAHA の寄付講座のスタートは困難な状況になりました。

ミャンマーの社会情勢の予測がつかない中、状況が落ち着くのを待っているだけなのか、何か方法はないものかと理事の皆様と相談しながら、オンラインでの授業の企画が決まりました。

JAMAHA の寄付講座として先行して冨田ご夫妻の日本語教室が始まっていました。それに並行して「介護の日本語」の授業を企画して頂きました。21 人の 18 歳から 20 代の生徒が参加し開講することができました。

教科書はミャンマー語と日本語をダウンロードし、配布されました。

通訳のイピュさんと約２時間、介護の基本や専門用語の難しい授業に熱心に取り組んでくれました。

ネット環境が悪く、また、計画停電が始まり、日本では考えられない学習環境の中一生懸命に難しい日本語と介護の専門用語を学ぶ姿勢を肌で感じています。

日本で働きたいと、夢を持って取り組んでいる生徒に、日本で働く環境に適応できることを願っています。

第２弾としての寄付講座も決まりました。皆様のご支援に感謝しています。